採用試験

令和８年度上級試験 先行実施枠について

New!!

①先行実施枠試験の方法

・１次試験はテストセンター方式で基礎能力試験(SCOA-A)を実施し、専門試験は無し。
・2次試験は専門記述式を廃止し専門性確認シートによる技術面接試験および個別面接を実施。

※専門性確認シート…「大学や職務等で培ってきた得意分野・専門分野」や「その知識や経験を活かして県職員として取り組んでみたいこと」などについて記入し、技術面接ではこのシートを使った「受験者による自己PR(3分程度)」「専門性等についての質疑応答」を実施します。

②令和８年度林業職上級試験(先行実施枠)の流れ

	申し込み	１次試験	１次合格発表	2次試験		２次合格発表
日程	3月１日(日) ～18日(水)	4月１日(水) ～10日(金)	4月17日(金)	＜適性＞ 4月17日(金) ～26日(日)	＜面接＞ 5月中～下旬の 指定する１日	6月中旬

	採用予定者数	１次試験	2次試験	
試験概要	１１名	基礎能力試験(80点)：テストセンター方式によるSCOA-A（5枝択一式・120問）	適性検査:職務の遂行に必要な適応性についての検査(WEB受検)	①技術面接(120点):自己PR 3分程度、専門性についての面接 20分程度。 ②個別面接(300点):人物についての面接 30分程度×2回。

採用試験

令和８年度採用試験実施予定
（大分県職員採用ポータルより）

①採用試験日程

	申し込み	１次試験	１次合格発表	２次試験	２次合格発表	採用予定者数
上級試験 (先行実施枠)	3/1(日)～18(水)	4/1(水)～ 10(金)	4/17(金)	適性：4/17(金)～26(日) 面接：5月中旬～下旬	6月中旬	11名
上級試験	今後、採用ポータルで公表予定　※R8から2次試験の専門記述式試験を廃止					
初級試験	今後、採用ポータルで公表予定　※R8から2次試験の作文試験を廃止					

②採用試験の内容

	１次試験	２次試験		専門試験出題分野
上級試験 (先行実施枠)	基礎能力試験（SCOA-A） （80点）	適性検査 (WEB)	技術面接(120点) 個別面接(300点)	なし
上級試験	今後、採用ポータルで公表予定　※R8から2次試験の専門記述式試験を廃止			
初級試験	今後、採用ポータルで公表予定　※R8から2次試験の作文試験を廃止			

採用試験

令和４年度～令和７年度の採用試験実施状況

（単位：人）

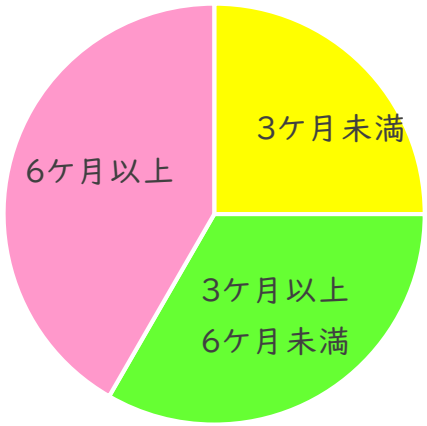
	R4			R5			R6			R7		
	募集	1次合格	最終合格	募集	1次合格	最終合格	募集	1次合格	最終合格	募集	1次合格	最終合格
上級（先行枠）	－	－	－	－	－	－	10	12	7	11	21	7
上級（通常枠）	2	4	2	7	4	2	9	1	0	4	3	2
上級（追加）	－	－	－	3	6	4	8	1	0	3	5	1
初級	1	2	1	2	2	2	3	0	0	2	2	1
行政経験者	－	－	－	－	－	－	2	0	0	2	0	0
社会人経験者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	6	1
合計	3	6	3	12	12	8	32	14	7	23	37	12

大分県林業職採用試験の過去4年間の平均倍率は約２.3倍です。
学生時代に林業以外を専攻した人も、林業職員として活躍しています。

採用試験

若手職員が採用試験に向けて行ったことを紹介します。

採用試験の勉強期間は？



上記のうち、**上級・先行実施枠**の受験に向けての勉強時間は、**3～6か月が最多**でした。

若手職員が採用試験に向けて取り組んだことを紹介します。
また、毎年インターンシップを行っており、現地での職場体験や若手職員との意見交換もありますので、ぜひご参加ください！

試験に向けてどんな準備をしましたか？

●筆記試験　択一式・記述式対策
・国家一般職試験問題や、他県林業職採用試験の過去問を解いた。
→大学等で林学系専攻でなかった人は全員過去問で対策していました！
・最新の森林・林業白書、森林・林業実務必携、林業技術ハンドブック、林政ニュースなどを読んだ。
・文部科学省著作「森林経営」「森林科学」「林産物利用」の教科書を基に授業で学んだ。（初級採用職員）
・林業普及指導員資格試験の過去問題を解いた。（林野庁HPに掲載）

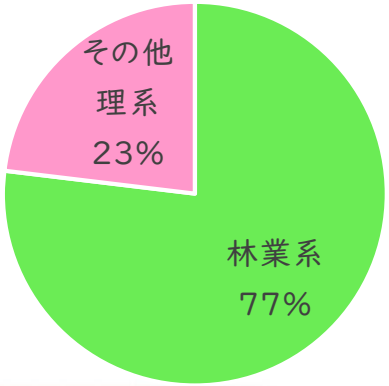
●筆記試験 SCOA-A対策（先行実施枠）
・問題集やネット上の例題を、繰り返し解いた。
・大学の公務員講座でSCOA-A模擬試験を受けた。

●個別面接対策
・県HPで森林・林業関係の情報を集め、県が何に力を入れているか調べた。
→林業関係施策については「おおいた農林水産業元気づくりビジョン2024」をご覧ください。
・インターンシップに参加して大分県の取り組みについて学んだ。
→インターンシップでの経験が非常に役立ったという声がありました！
・森林・林業関係の新聞記事やニュースを確認した。
・大学キャリアセンターや友人などに面接練習をしてもらった。
・想定される質問に対する返答をあらかじめ考えた。
・学校の先輩や林業職員など、受験経験がある人から情報収集した。

採用試験

採用前の専攻は？

近年5ケ年の上級試験採用者



林業系以外専攻の出身者も大歓迎です!
年々増加しており、皆さん活躍しています。
文学部から受験し採用され、その後様々な資格も取得し、
現在は林業普及指導員として活躍している職員もいます。

林業系以外の学部出身で採用された職員に、いろいろと聞いてみました。

～①きっかけ　②勉強方法　③メッセージ～

○理学部卒業（R3採用）

①大学で災害や防災について学びました。近年大雨による土砂災害が多く、林業職の治山事業に携わり、地元である大分県の防災や復旧に貢献したいと思い林業職を受験しました。
②林業白書を読み、国家公務員試験の過去５年間分の試験問題を解きました。問題を解くだけでなく、分からない単語を調べることに力を入れました。
③大学で学んだことは筆記試験にまったく役に立ちませんでしたが、３ヶ月間みっちり対策すれば大丈夫です。今現在の業務もなんとかなっているので、専門を学んでおらず不安が大きいかと思いますが、林業職に興味がある方はぜひ挑戦してみてください。

○環境科学部卒業（R3採用）

①小学生の頃から動物が好きで、大学で動物生態を研究するうちに鳥獣対策を行う仕事に就きたいと思い林業職を受験しました。
②森林・林業白書、森林・林業実務必携、林業技術ハンドブックを用いて、国家公務員一般　林業区分の過去問を6年分解きました。国家一般試験の問題は40問5択式で出題されるので、6年分×40問×5択＝1200の文章の添削を上記の参考書を用いて行いました。上記の参考書３冊に問題の6～7割の解説が載っていますが、残りの分は大学の図書館にある参考書を用いました。
(砂防工学　森林水文学　木材工学　樹木図鑑など)はじめは１年分を添削し終わるのに2～3ヶ月かかりましたが、同じ傾向の問題が毎年出題されるので半年ほどで6年分の添削が終了しました。
記述式問題は問題を公開している都道府県がいくつかあるのでそれらを解いて対策しました。
③林業は鳥獣対策や森林整備といった環境的な業務もあれば治山や測量といった工学的なこと、法律や経営学を用いた文系的な業務などあまり知られていないだけで職務内容がかなり幅広いです。
どのような学部であっても皆さんの専攻を活かせる機会が多くありますので森林に興味をお持ちなら、ぜひ大分県の林業職をご検討ください。